平成27年６月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年５月８日

上場会社名　株式会社アバント　上場取引所　東
コード番号　3836　URL http://www.avantcorp.com/
代表者（役職名）代表取締役社長　（氏名）森川 徹治
問合せ先責任者（役職名）取締役財務担当　（氏名）春日 尚義　(TEL) 03-6864-0100
四半期報告書提出予定日　平成27年５月14日　配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：有
四半期決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成27年６月期第３四半期の連結業績（平成26年７月１日～平成27年３月31日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年６月期第３四半期	6,431	3.2	616	△ 25.6	609	△ 25.9	376	△ 8.0
26年６月期第３四半期	6,232	29.0	829	116.9	822	123.8	409	115.6

(注) 包括利益 27年６月期第３四半期　379百万円(△ 7.5%) 26年６月期第３四半期　409百万円(113.2%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年６月期第３四半期	80.20	―
26年６月期第３四半期	87.20	―

(注)平成25年11月１日付で、普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、１株当たり四半期純利益を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年６月期第３四半期	5,012	2,713	54.1
26年６月期	5,537	2,460	44.4

(参考) 自己資本 27年６月期第３四半期　2,713百万円　26年６月期　2,460百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年６月期	―	0.00	―	27.00	27.00
27年６月期	―	0.00	―		
27年６月期(予想)				14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成27年６月期の連結業績予想（平成26年７月１日～平成27年６月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,400	13.2	760	△30.2	750	△30.5	435	△30.2	92.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　—社（社名）　　、除外　　—社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年６月期３Ｑ	4,694,000株	26年６月期	4,694,000株
②　期末自己株式数	27年６月期３Ｑ	227株	26年６月期	202株
③　期中平均株式数（四半期累計）	27年６月期３Ｑ	4,693,777株	26年６月期３Ｑ	4,693,798株

(注)平成25年11月１日付で、普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）４ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 5
３．四半期連結財務諸表 …… 6
（１）四半期連結貸借対照表 …… 6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 8
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 8
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 9
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 10
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 11
(継続企業の前提に関する注記) …… 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間（以下、当第３四半期）におけるわが国経済は、円安基調による原材料価格の高騰、海外経済状況の影響など先行きの懸念材料はあるものの、経済・金融政策の後押し、消費税率引上げの反動の影響も和らいできており、企業業績や雇用情勢の改善等緩やかな回復基調で推移しております。

ソフトウエア・情報サービス業界におきましては、受注競争は依然厳しいものの、企業収益の改善・設備投資の回復に伴い、競争力強化に向けたクラウドやビッグデータ等、ＩＴサービスの投資は増加しつつあります。

当社グループは、わが国を代表する数々の企業グループをお客様に持ち、そうしたお客様の継続的な企業価値向上に寄与するために、①企業グループの会計方針統一を可能とするソリューション、②企業グループのＥＲＰ導入支援及びＢＩ分野でのサービス提供、③企業グループの連結決算・納税業務を一括して引受けるアウトソーシング・サービスなど、業務効率の改善に資する専門性の高い業務ソフトウエアや、企業グループ内に蓄積された情報の有効活用に役立つサービスを提供しております。

当第３四半期においては、アウトソーシング・サービスに対する新規受注が順調に増加した他、コンサルティング・サービスも不採算プロジェクトの収束により受注能力が回復したことに伴い、グループ全体の売上高は増加基調にあるものの、反面、収益性の高いライセンス販売については、前年同四半期の様な大型案件もなく伸び悩んでいることに加え、競争力を維持するため既存事業の基盤強化や、今後の成長に必要不可欠と思われる最低限の人財とＩＴへの投資を実行したことにより、利益水準は前年同四半期を下回ることとなりました。

この結果、期首から当第３四半期に至る過去9ヵ間の連結業績は、売上高6,431,917千円(前年同四半期比3.2％増)、営業利益616,914千円（前年同四半期比25.6％減)、経常利益609,696千円（前年同四半期比25.9％減)、当四半期純利益376,455千円（前年同四半期比8.0％減）となりました。

事業形態別の売上高の状況は以下のとおりです。

＜ライセンス販売＞

マーケティング活動の強化や戦略的パートナーとの連携強化を推進し販売機会の拡大に努めておりますが、案件数および成約額が前期に比べ共に減少しており、ライセンスの売上高は446,943千円（前年同四半期比28.7％減）となりました。

＜コンサルティング・サービス＞

お客様の競争力強化につながるＩＴサービスへの投資ニーズに応えるべく、決算早期化やＩＦＲＳ対応の他、グループ経営管理やデータ分析など多様なソリューションの提案・提供に努めております。前四半期までに不採算プロジェクトが収束したことにより受注能力が回復したこともあり、グループ全体としてのコンサルティング・サービスの売上高は3,885,567千円（前年同四半期比5.4％増）と前年同四半期に比べ197,655千円の増収になりました。

＜サポート・サービス＞

サポート・サービスの売上高1,912,709千円（前年同四半期比10.1％増）の８割以上は、主力製品であるDivaSystemの保守料と同製品を活用してお客様への連結決算業務等のアウトソーシング・サービスの提供による収入からもたらされています。DivaSystemの継続的なバージョンアップによる製品機能の強化に加え、お客様からの様々なご質問や支援のご要請に迅速に応えて行くことを通じて顧客満足度の向上を図っており、その結果、保守料収入は高い継続利用率に支えられ堅調に増加推移して来ております。一方、アウトソーシング・サービスも既存のお客様との経験を通してよりサービス品質を高め、かつサービスメニューを更に充実させることで、大手のお客様からの引合いも増加しております。

＜情報検索サービス＞

検索機能の継続的な強化・拡張により顧客基盤は安定的に推移しております。特定顧客向けに開示情報を利用したレポートを作成するサービスも展開しており、これに伴うスポットの売上も発生しており、情報検索サービスの売上高は186,696千円（前年同四半期比2.7％増）となりました。

なお、当第３四半期の受注及び販売の状況は、次のとおりとなっております。

① 受注状況

（単位:千円［単位未満切捨て］）

	前年同四半期		当第３四半期		増減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
ライセンス販売	626,522	－	446,943	－	△ 179,578	－
コンサルティング・サービス	3,589,067	655,236	4,079,458	928,009	490,390	272,772
サポート・サービス	1,547,060	651,775	1,736,352	712,160	189,292	60,385
情報検索サービス	156,914	29,463	169,247	37,650	12,332	8,187
合計	5,919,566	1,336,475	6,432,002	1,677,820	512,436	341,345

② 販売実績

（単位:千円［単位未満切捨て］）

	前年同四半期	当第３四半期	増 減	
	金 額	金 額	金 額	増減率(%)
ライセンス販売	626,522	446,943	△ 179,578	△28.7%
コンサルティング・サービス	3,687,911	3,885,567	197,655	5.4%
サポート・サービス	1,736,463	1,912,709	176,245	10.1%
情報検索サービス	181,761	186,696	4,934	2.7%
合計	6,232,660	6,431,917	199,257	3.2%

（注） 上記①、②の表の金額には、消費税等は含まれていません。

（２）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第３四半期末の資産合計は、5,012,356千円（前連結会計年度末比525,142千円減少）となりました。これは主に、賞与や法人税等の支払いによる現金及び預金の減少680,789千円と、受取手形及び売掛金の増加172,975千円等により流動資産が445,310千円減少したことに加え、のれんの償却84,825千円、前連結会計年度に取得した設備の減価償却が進んだことによる有形固定資産の減少 28,806千円と、ＩＴ投資によるソフトウエアの増加8,551千円、事務所の増床に伴う敷金保証金の増加 16,617千円等により、固定資産が78,882千円減少したことによるものです。

一方、負債合計は2,299,169千円（前連結会計年度末比777,591千円減少）となりました。これは主に賞与引当金の減少185,463千円、未払法人税等の減少261,298千円、並びに前受収益の減少209,647千円等により流動負債が662,735千円減少したことに加え、長期借入金の約定返済91,845千円等により固定負債が114,855千円減少したことによるものです。

また、純資産合計は四半期純利益376,455千円の計上と剰余金の配当126,732千円の支払いにより、2,713,186千円（前連結会計年度末比252,449千円増加）となりました。この結果、自己資本比率は54.1％（前連結会計年度末は44.4％）と、50％台に回復しており安定的な財務バランスを保っているものと考えております。

② キャッシュ・フローの状況

当第３四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ680,789千円減少し、2,124,722千円となりました。

当第３四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、287,968千円となりました。（前年同四半期は109,684千円の獲得）

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益609,696千円、減価償却費97,970千円等であり、支出の主な内訳は、賞与引当金の減少額185,463千円や法人税等の支払額535,346千円などの季節性資金の支出と、売上高増加に伴う売上債権の増加額172,247千円や保守サービスの売上高計上に見合う前受収益の減少額209,647千円等、通常の事業活動で生じる増加運転資金であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、141,189千円となりました。（前年同四半期は139,694千円の使用）

支出の内訳は、ネットワーク設備等のＩＴ投資や子会社の事務所移転・新規事務所開設に伴う有形固定資産の取得による支出94,482千円、ソフトウエア投資に伴う無形固定資産の取得による支出25,629千円等であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、253,724千円となりました。（前年同四半期は172,645千円の使用）

支出の主な内訳は、配当金の支払126,732千円と長期借入金の約定返済91,845千円であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績につきましては、平成26年８月８日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、当社グループは、成長と収益性の両立を図るため① 売上高成長率と ② 営業利益率（投資費用控除後）を重要な経営指標としております。それぞれの値を、① 年率平均20％以上、及び ② 10％以上とすることを目標に、これを中長期で実現していく一方で、海外進出の実績作りに向け邁進するとともに、株主資本利益率（ROE）を向上させることで株主価値を高めてまいります。

※ 上記は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成26年６月30日）	当第３四半期連結会計期間 （平成27年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,805,512	2,124,722
受取手形及び売掛金	1,217,909	1,390,884
仕掛品	109,907	138,539
原材料及び貯蔵品	1,730	12,875
繰延税金資産	188,418	126,299
その他	175,302	265,882
貸倒引当金	△762	△6,496
流動資産合計	4,498,018	4,052,708
固定資産		
有形固定資産	254,045	225,238
無形固定資産		
のれん	367,575	282,750
ソフトウエア	37,271	45,822
その他	973	944
無形固定資産合計	405,819	329,517
投資その他の資産		
投資有価証券	5,000	5,000
敷金及び保証金	318,565	335,182
繰延税金資産	34,990	40,139
その他	19,265	24,092
貸倒引当金	－	△367
投資その他の資産合計	377,822	404,048
固定資産合計	1,037,687	958,804
繰延資産		
社債発行費	1,792	843
繰延資産合計	1,792	843
資産合計	5,537,498	5,012,356

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成26年６月30日）	当第３四半期連結会計期間 （平成27年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	255,790	345,923
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	122,460	122,460
リース債務	2,497	3,336
未払金及び未払費用	225,467	238,080
未払法人税等	263,613	2,314
前受収益	1,020,456	810,808
賞与引当金	397,328	211,865
役員賞与引当金	70,604	7,912
役員退職慰労引当金	3,000	－
受注損失引当金	－	8,793
資産除去債務	7,811	－
その他	230,248	185,049
流動負債合計	2,659,279	1,996,543
固定負債		
社債	30,000	－
長期借入金	273,750	181,905
リース債務	4,320	7,198
繰延税金負債	186	144
資産除去債務	109,224	113,376
固定負債合計	417,481	302,625
負債合計	3,076,760	2,299,169
純資産の部		
株主資本		
資本金	288,400	288,400
資本剰余金	225,200	225,200
利益剰余金	1,947,025	2,196,748
自己株式	△92	△127
株主資本合計	2,460,532	2,710,220
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	24	46
為替換算調整勘定	180	2,919
その他の包括利益累計額合計	204	2,966
純資産合計	2,460,737	2,713,186
負債純資産合計	5,537,498	5,012,356

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成25年７月１日 至 平成26年３月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成26年７月１日 至 平成27年３月31日）
売上高	6,232,660	6,431,917
売上原価	3,443,511	3,677,851
売上総利益	2,789,148	2,754,066
販売費及び一般管理費	1,959,775	2,137,151
営業利益	829,372	616,914
営業外収益		
受取利息	687	427
還付加算金	－	1,070
その他	7	149
営業外収益合計	695	1,648
営業外費用		
支払利息	6,045	4,039
支払手数料	401	2,682
その他	1,016	2,143
営業外費用合計	7,463	8,866
経常利益	822,604	609,696
税金等調整前四半期純利益	822,604	609,696
法人税、住民税及び事業税	446,512	176,287
法人税等調整額	△33,217	56,953
法人税等合計	413,294	233,241
少数株主損益調整前四半期純利益	409,309	376,455
四半期純利益	409,309	376,455

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成25年７月１日 至 平成26年３月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成26年７月１日 至 平成27年３月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	409,309	376,455
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△29	22
為替換算調整勘定	546	2,739
その他の包括利益合計	516	2,761
四半期包括利益	409,826	379,216
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	409,826	379,216
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成25年７月１日 至 平成26年３月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成26年７月１日 至 平成27年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	822,604	609,696
減価償却費	63,559	97,970
社債発行費償却	948	948
のれん償却額	84,825	84,825
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1,943	6,101
受注損失引当金の増減額（△は減少）	△39,839	8,793
賞与引当金の増減額（△は減少）	34,632	△185,463
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	5,119	△62,691
受取利息及び受取配当金	△687	△427
支払利息	6,045	4,039
支払手数料	401	2,682
売上債権の増減額（△は増加）	△486,009	△172,247
たな卸資産の増減額（△は増加）	45,752	△39,777
仕入債務の増減額（△は減少）	20,083	90,132
未払金及び未払費用の増減額（△は減少）	128,380	54,792
前受収益の増減額（△は減少）	△223,459	△209,647
その他	33,434	△38,974
小計	497,733	250,753
利息及び配当金の受取額	687	427
利息の支払額	△5,986	△3,802
法人税等の支払額	△382,750	△535,346
営業活動によるキャッシュ・フロー	109,684	△287,968
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△20,567	△94,482
無形固定資産の取得による支出	△21,507	△25,629
敷金及び保証金の差入による支出	△93,158	△16,617
保険積立金の積立による支出	△4,459	△4,459
投資活動によるキャッシュ・フロー	△139,694	△141,189
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	350,000	200,000
短期借入金の返済による支出	△350,000	△200,000
長期借入金の返済による支出	△98,545	△91,845
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,856	△2,610
社債の償還による支出	△30,000	△30,000
支払手数料の支出	－	△2,501
自己株式の取得による支出	－	△35
配当金の支払額	△42,244	△126,732
財務活動によるキャッシュ・フロー	△172,645	△253,724
現金及び現金同等物に係る換算差額	551	2,092
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△202,103	△680,789
現金及び現金同等物の期首残高	2,244,406	2,805,512
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,042,302	2,124,722

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。